

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【公開番号】特開 2012-253479 (P2012-253479A)

【公開日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2012-054

【出願番号】特願 2011-123168 (P2011-123168)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 3 B 27/50 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 6 A

G 0 6 T 1/00 4 5 0 B

H 0 4 N 1/00 1 0 8 M

G 0 3 B 27/50 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 30 日 (2014.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第 1 の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含まない場合、前記第 1 の傾き補正手段による補正を実行させ、複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合は、前記第 1 の傾き補正手段による補正を実行させないように切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

【請求項 2】

搬送される原稿の傾きを機械的に補正する第 2 の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合は、前記第 2 の傾き補正手段で補正し、複数の前記原稿が複数種類のサイズを含まない場合は、前記第 2 の傾き補正手段による補正を実行しないように切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

【請求項 3】

原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第 1 の傾き補正手段と、

搬送される前記原稿の傾きを機械的に補正する第 2 の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合、前記第 1 の傾き補正手段を前記第 2 の傾き補正手段に切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

【請求項 4】

操作部をさらに有し、

前記切替手段は、前記操作部において予め定めた操作がされた場合に、複数の前記原稿が複数種類のサイズから構成されると判断する請求項 1 - 3 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記原稿の搬送方向に対する原稿の幅を読み取る検知部をさらに有し、

前記切替手段は、前記検知部の検出内容に基づいて複数の前記原稿が複数種類のサイズを含むと判断する請求項 1 - 3 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 6】

原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第 1 の傾き補正手段と、

搬送される前記原稿の傾きを機械的に補正する第 2 の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合、前記第 1 の傾き補正手段を前記第 2 の傾き補正手段に切り替える切替手段と

前記第 1 の傾き補正手段が傾き補正した読取画像又は前記第 2 の傾き補正手段によって傾き補正された原稿を前記読取部によって読み取られた読取画像に基づいて用紙に画像を形成する画像形成部とを有する画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

[1] 原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第 1 の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含まない場合、前記第 1 の傾き補正手段による補正を実行させ、複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合は、前記第 1 の傾き補正手段による補正を実行させないように切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

[2] 搬送される原稿の傾きを機械的に補正する第 2 の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合は、前記第 2 の傾き補正手段で補正し、複数の前記原稿が複数種類のサイズを含まない場合は、前記第 2 の傾き補正手段による補正を実行しないように切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

[3] 原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第 1 の傾き補正手段と、

搬送される前記原稿の傾きを機械的に補正する第 2 の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合、前記第 1 の傾き補正手段を前記第 2 の傾き補正手段に切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[4] 操作部をさらに有し、

前記切替手段は、前記操作部において予め定めた操作がされた場合に、複数の前記原稿が複数種類のサイズから構成されると判断する前記 [1] - [3] のいずれかに記載の画像読取装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

[5] 前記原稿の搬送方向に対する原稿の幅を読み取る検知部をさらに有し、

前記切替手段は、前記検知部の検出内容に基づいて複数の前記原稿が複数種類のサイズ

を含むと判断する前記 [1] - [3] のいずれかに記載の画像読取装置。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

[6] 原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第 1 の傾き補正手段と、

搬送される前記原稿の傾きを機械的に補正する第 2 の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合、前記第 1 の傾き補正手段を前記第 2 の傾き補正手段に切り替える切替手段と

前記第 1 の傾き補正手段が傾き補正した読取画像又は前記第 2 の傾き補正手段によって傾き補正された原稿を前記読取部によって読み取られた読取画像に基づいて用紙に画像を形成する画像形成部とを有する画像形成装置。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 1、2、3 又は 6 に係る発明によれば、搬送される原稿のサイズが複数の種類混合されている場合にも傾き補正を実行する画像読取装置及び画像形成装置を提供することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 4 に係る発明によれば、操作部において予め定めた操作がされた場合に原稿が複数のサイズから構成されると判断することができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 5 に係る発明によれば、検知部の検出内容に基づいて原稿が複数のサイズから構成されると判断することができる。